

要件事項	<p><A i r-N A C C S> 「搬入確認登録（システム内保税運送）（B I N O 1）」業務及び「貨物確認情報登録（P K G）」業務にかかる照会業務の新設</p>
機能概要	<p><変更前仕様> 保税運送申告された貨物の運送先保税蔵置場への搬入確認の実施有無を一覧で確認する機能がない。</p>
	<p><変更後仕様> 保税運送申告された貨物に対して、運送先保税蔵置場における搬入確認業務（B I N O 1業務／P K G業務）の実施状況を確認するための照会業務を新設する。</p>

1. 変更内容

新規業務（照会業務）の追加

新規業務「搬入状況照会（保税運送貨物）（I O W）」業務にて、指定した期間内に保税運送申告（貨物移動情報登録含む）された貨物のうち、運送先保税蔵置場での搬入確認が未済の貨物を一覧で出力する。

なお、システム対象外保税蔵置場へ保税運送された貨物（（i）包括保税運送承認に係る個別運送、（ii）同一許可内運送または総合保税地域内運送された貨物を除く）については、税関での到着確認「システム対象外保税運送到着確認（C A T）業務」が未済の貨物を出力する。

（A）入力条件

入力した「保税蔵置場コード」に対して以下のチェックを実施する。

- ・ 入力者が税関以外の場合は、入力者の管理する保税蔵置場コードであること。
- ・ 指定した期間内に実施された保税運送申告の発送元または運送先となっていること。

（B）処理内容

入力した「保税蔵置場コード」ごとに、運送先保税蔵置場での搬入確認（「搬入確認登録（システム内保税運送）（B I N O 1業務）」または「貨物確認情報登録（P K G）」業務^(*1)）が未済の貨物の以下の情報を一覧で出力する。

- ・ 保税運送申告番号
- ・ 保税運送申告年月日^(*2)
- ・ 発送元保税運送地域コード^(*3)
- ・ 運送先保税地域コード^(*3)
- ・ 運送中識別
- ・ A W B 番号
- ・ 個数
- ・ 重量
- ・ 品名
- ・ 到着便名
- ・ 「混載貨物確認情報登録（H P K）」業務実施表示

（*1）保税運送貨物の運送先保税蔵置場での搬入確認業務は貨物種別により異なる。

- ・ 他空港向一括保税運送（U L D 収容）以外の貨物：B I N O 1 業務
- ・ 他空港向一括保税運送（U L D 収容）貨物：P K G 業務

なお、システム対象外保税蔵置場に保税運送された貨物（（i）包括保税運送承認に係る個別運送、（ii）同一許可内運送または総合保税地域内運送された貨物を除く）の場合は、税関でC A T業務にて到着確認を行う。

（*2）入力で指定した期間内に保税運送申告された貨物を出力する。

（*3）入力した「保税蔵置場コード」が保税運送申告における発送元／運送先のどちらの保税地域かを指定することにより、以下の貨物情報を出力する。

- ・ 発送元保税蔵置場である場合は、運送先保税蔵置場における貨物の搬入状況。
- ・ 運送先保税蔵置場である場合は、入力の保税蔵置場における保税運送申告貨物の搬入状況。

(C) AWB番号の出力順

IOW業務で抽出対象となったAWB番号は、以下の順にソート（昇順）し、照会結果画面に出力する。

- ①保税運送申告年月日
- ②保税運送申告番号の頭1桁
- ③AWB番号

2. 変更対象業務

新規業務

- ・「搬入状況照会（保税運送貨物）（IOW）」業務

3. 特記事項

- (1) オンライン業務の追加に伴い、EDI仕様書「付表6-9-3 対象業務一覧【輸入関連業務】」の修正を行う。
- (2) 出力情報コードの追加に伴い、EDI仕様書「付表6-10-3 出力情報コード一覧【輸入関連業務】」の修正を行う。
- (3) 端末資材の追加に伴い、利用者による端末ダウンロードが必要となる。
- (4) 端末パッケージソフトにおいて、新規業務の照会結果画面からの業務リンクにより、以下の照会業務の入力画面を展開する。
 - ①「輸入貨物情報照会（IAW）」業務
 - ②「保税運送情報照会（ITF）」業務
- (5) 新規業務での照会は、プログラムのリリース日以降に保税運送申告がされた貨物を対象とする。
- (6) 新規業務の業務仕様書と記載を合わせるため、「保税運送情報照会（ITF）」業務の業務仕様書及び入力ガイドの修正を行う。

4. リリース日

平成25年3月17日（日）

5. サービス開始日

平成25年4月1日（月）